

水稻作況試験情報 【令和5年産 普通期栽培】

香川県農業試験場（7月30日現在）

移植期以降、最高気温は、6月4、6半旬、7月2～6半旬でかなり高く、最低気温は6月5半旬～7月4半旬で高く推移した。降水量は平年より6月4～5半旬、7月3～6半旬で少なく推移した。田植40日後の生育については、過去5か年の平均値より、草丈はコシヒカリは短く、ヒノヒカリ、おいでまいは平年並みであった。茎数はコシヒカリは平年並み、おいでまいはやや多く、ヒノヒカリは多かった。主稈葉数は3品種ともに平年並みであった。

1. 作況試験の方法

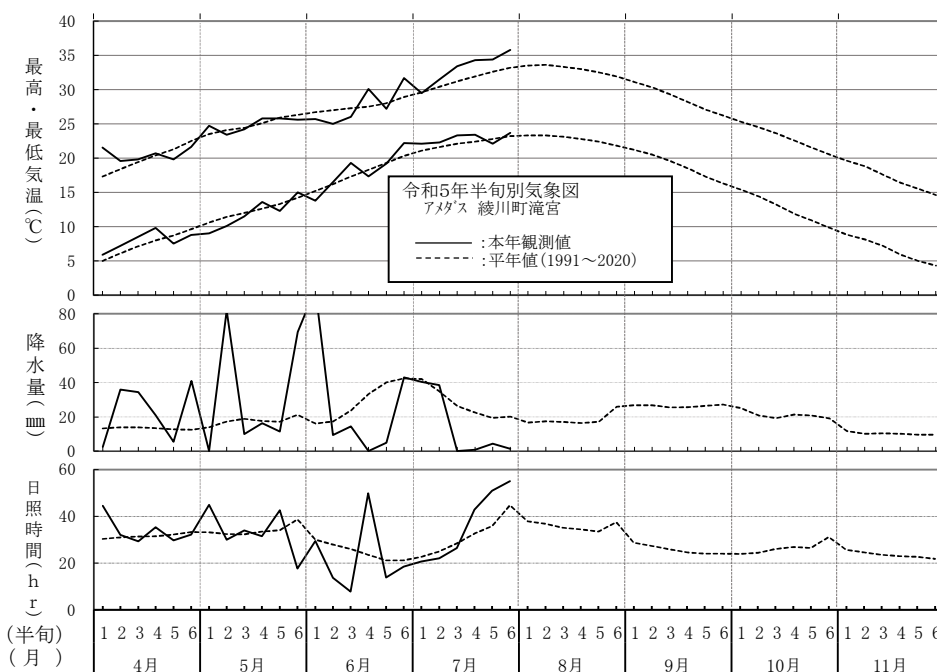
- 1) 供試品種：コシヒカリ、ヒノヒカリ、おいでまい
- 2) 播種期：6月1日 移植期：6月20日
- 3) 育苗方法：播種後、加温出芽させ、その後露地育苗した。
- 4) 栽植密度及び移植方法
18.5株/m²（30cm×18cm）、1株4本程度、機械移植
なお、生育調査株は移植直後1株4本に調整した。
- 5) 本田施肥（N成分kg/a）

	基肥	穂肥 I（予定）	穂肥 II（予定）
コシヒカリ	0.3	0.15（7/30）	0.10
ヒノヒカリ	0.5	0.25	0.15
おいでまい	0.5	0.25	0.15

- 6) 使用肥料：化成肥料（N：P₂O₅：K₂O＝14：10：12%）
- 7) 1区面積及び区制 1区250m²（コシヒカリ500m²）、2反復

2. 具体的データ

令和5年産水稻 気象表（7月6半旬まで）



令和5年産 水稲作況試験生育調査結果(7月30日現在)

調査 (月/日)	供試品種 項目	コシヒカリ			ヒノヒカリ			おいでまい		
		本年	過去5か年 平均値	差(比)	本年	過去5か年 平均値	差(比)	本年	過去5か年 平均値	差(比)
移植時 (6/20)	草丈(cm)	15.5	15.4	0.1	12.1	12.2	▲ 0.1	11.1	11.7	▲ 0.6
	主稈葉数(枚)	2.4	2.5	0	2.6	2.6	0	2.5	2.6	▲ 0.1
田植20日後 (7/10)	草丈(cm)	41.1	40.0	1.1	32.9	32.2	0.7	34.5	33.1	1.4
	茎数(本/m ²)	256	233	10 %	356	264	35 %	367	300	22 %
	主稈葉数(枚)	7.3	7.4	▲ 0.1	7.8	7.6	0.2	8.2	7.8	0.4
田植30日後 (7/20)	草丈(cm)	56.0	58.0	▲ 2.0	49.2	48.9	0.3	49.2	48.1	1.1
	茎数(本/m ²)	482	477	1 %	658	529	24 %	658	633	4 %
	主稈葉数(枚)	9.7	9.7	0	10.3	9.8	0.5	10.3	10.1	0.2
田植40日後 (7/30)	草丈(cm)	72.7	76.5	▲ 3.8	69.4	69.1	0.3	67.6	68.4	▲ 0.8
	茎数(本/m ²)	503	513	▲ 2 %	704	593	19 %	780	729	7 %
	主稈葉数(枚)	11.1	11.1	▲ 0	11.9	11.3	1	12.1	11.9	0
播種期(月/日)		6/1	5/30	1	6/1	5/30	1	6/1	5/30	1
移植期(月/日)		6/20	6/20	0	6/20	6/20	0	6/20	6/20	0
幼穂形成始期(月/日)		7/24	7/27	▲ 3		8/5			8/7	
出穂期(月/日)			8/15			8/27			8/27	
主稈止葉葉位(枚)			13.0			14.3			15.1	
穂数(本/m ²)			395	%		425	%		457	%
稈長(cm)			90.1			84.7			82.9	
穂長(cm)			18.7			18.2			18.9	
成熟期(月/日)			9/18			10/5			10/5	

注1)コシヒカリ、ヒノヒカリ、おいでまいの差は過去5か年平均との比較で示した。

注2)茎数・穂数については対比(増減%)で表し、これ以外の項目については対差(実数値)で表した。なお▲は少ない、短い、早いことを示す。